

大学の 仲間たち



和名 コミスジ
学名 *Neptis sappho*
分類 タテハチョウ科
(鱗翅目, 昆虫綱)
翅開長 45~50mm

コミスジ

翅(はね)を広げると45~5cmぐらいの中型のチョウである。滑空と羽ばたきを繰り返して、ヒラ〜ヒラ〜という感じで緩やかに飛ぶので、簡単に捕獲できそうに思えるが、いざその気になってもけっこう捕獲しにくい。派手な翅色が特徴のタテハチョウの仲間であるが、このグループはすべて黒褐色地に白い「すじ」を持つ。その「すじ」の数や特徴がチョウの名前になっていることが多い。ちなみにこのチョウは、翅を広げると背面に3本の「すじ」が顕著であるうちの小型種ということで、「こみすじ」と名付けられている。裏面の地色は茶褐色と色合いが薄い、やはり3本の「すじ」が確認できる。

本学では、このチョウは5月初旬から10月初旬にかけて見られるが、7月の初旬や8月の終わり頃にはあまり見かけない。従って、おそらく年3回の発生であろう。本種の幼虫は、クスやフジなど本学内では珍しくないマメ科植物などを食べて育つので、当然本学内でも繁殖をしていると思われるが、私はまだ確認していない。越冬は終齢(幼虫の時に5回脱皮を繰り返すその最後の段階)幼虫で行うという。

(自然環境教育センター長 前田喜四雄)

URL

<http://www.nara-edu.ac.jp/ECNE/index.htm>



奈良教育大学 広報誌

第28号 平成20年7月31日 編集/広報・情報公開委員会 発行/国立大学法人奈良教育大学
〒630-8528 奈良市高畑町 TEL. 0742-27-9104 FAX. 0742-27-9141
<http://www.nara-edu.ac.jp> kikaku-kouhou@nara-edu.ac.jp